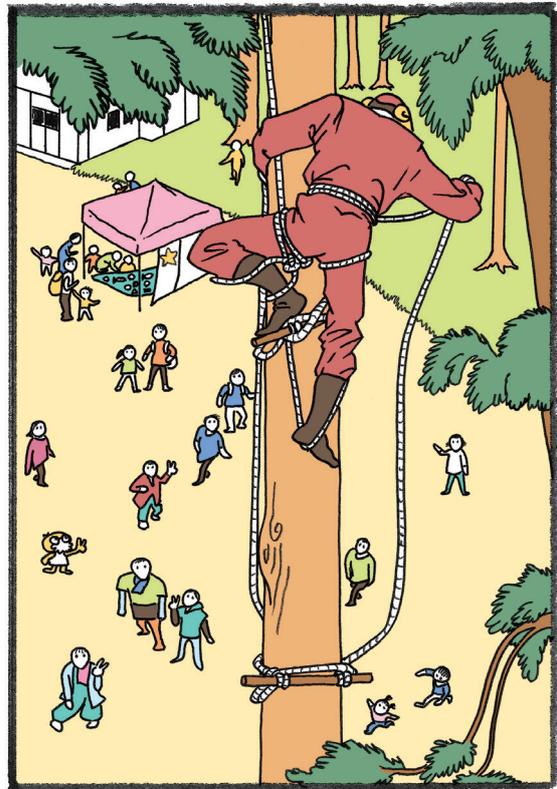
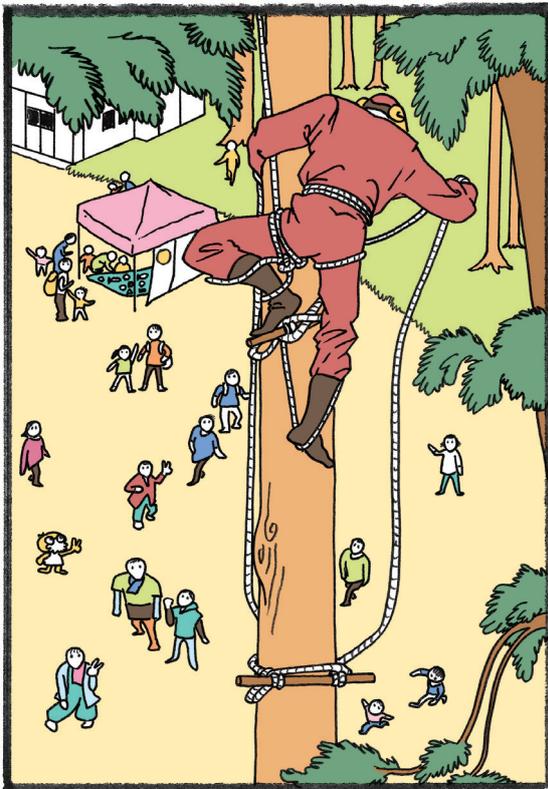




画:とうふねこ座 市川雅子



絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥関心のあった記事⑦感想などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり6月号に掲載します。

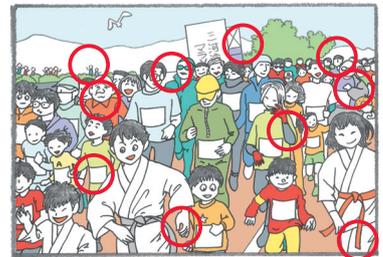
締切 4月15日(火)

2月号当選者

- 大岡ちよ美(水竹町)
- 小田 安子(清田町)
- 小林 洋子(水竹町)
- 竹内美穂子(豊岡町)
- 永田 武満(緑町)

(50音順・敬称略)

2月号の答え



森の文化祭

木の棒2本とロープ1本で登る、日本古来の木登りをぶり縄といいます。余分な木を切り落とす板打ちや種取り、幹の皮剥ぎ、ロープの取り付けをする時に使われます。

ここはさがらの森、今日は森の文化祭です。ぶり縄で木に登る枝打ち師をみんなが見上げています。

男の子「おーい、おじさん！なんで枝打ちするのー？」

枝打ち師「木を板や柱にした時に外側に節や穴が見えないようにするためだよ。

それに、成長を調整することで、1本の木からたくさん板や柱が取れるし、

日当たりと風通しがよくなって、山が崩れにくくなるんだよ！

女の子「すっごーい高いところに登って怖くない？」

枝打ち師「怖いよーでも眺めは抜群♡体をロープで固定すれば大丈夫！帰りは消防士みたいにロープでアツという間に降りれるしさ。実はこれが1番の楽しみ♪木に逆さに抱きついて、頭から降りる時もあるよ😊」

子どもたち「怖いけど楽しそうだね！」

ここでしかない貴重な体験ができましたね。